

<mmgr_dal_SigmaKoki.dll 動作仕様書>

■ 1. バージョン … 1.4.22

■ 2. XYStage 動作仕様

○デバイス名

XYStage | XYStage (BIOS System)

○サポート機種

SHOT-302GS/702/304GS、FC-101G、SC-101G、HSC-103

○通信設定

設定項目	SHOT-702	FC-101G	SC-101G	SHOT-302GS SHOT-304GS	HSC-103
BaudRate	38400	・9600 ・19200 ・38400	9600	・4800 ・9600 ・19200 ・38400	・9600 ・38400 ・57600
DataBit	8				
Parity	None				
StopBite	1				
HandShake	・RTS/CTS ・none	none		RTS/CTS	
Delimiter	CRLF				

※1. 機器を接続している COM ポート(PC 側)を正しく選択してください。

※2. BaudRate の設定は必ずコントローラメモリスイッチの設定と合わせて選択してください。

※3. コントローラは必ず Host モード(PC からの指令を受け付ける状態)に設定してください。

○Preset パラメータ

設定項目	SHOT-302GS SHOT-702	FC-101G	SC-101G	SHOT-304GS	HSC-103
Channel-X,Y	1, 2	1, 2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3
Speed (micron/sec)	10～5000				
StepSize_X,Y (micron)	0.1				0.010

※1. Channel-X,Y … ★初期値(X 軸:1、Y軸:2)

XY 軸の接続チャンネルを設定します。

※2. Speed(micron) … ★初期値(3000 micron/sec)

XY 軸共通で速度を設定します。

※3. StepSize_X,Y(micron)…ReadOnly(ユーザー側からの設定は不可)

移動分解能を表示します。★初期値(0.100 micron、HSC-103 のみ 0.010 micron)固定

※4. その他

- ・ステージは BIOS シリーズ(顕微鏡用自動XYステージ)の使用に限定します。
- ・HSC-103 使用時は、本体メモリスイッチの「PLSRATE」を 500 に設定してください。
- ・FC-101G のみフィードバック制御ステージ専用コントローラとなります。

■4. ZStage 動作仕様

○デバイス名

ZStage | ZStage (focusing actuator)

○サポート機種

FINE-01 γ / 503、SHOT-302GS/702/304GS、GIP-101、TAF-C01、HSC-103

○通信設定

設定項目	FINE-01 γ / 503	GIP-101	TAF-C01
BaudRate	4800 / 9600 / 19200 / 38400		38400
DataBit	8		
Parity	None		
StopBite	1		
HandShake	RTS/CTS	None	
Delimiter	CRLF		

※1. SHOT-302GS/702/304GS、HSC-103 の設定は XYStage の通信設定を参照。

※2. 機器を接続している COM ポート(PC 側)を正しく選択してください。

※3. BaudRate の設定は必ずコントローラメモリスイッチの設定と合わせて選択してください。

※4. コントローラは必ず Host モード(PC からの指令を受け付ける状態)に設定してください。

○Preset パラメータ

設定項目	GIP-101 TAF-C01	SHOT-702	SHOT-302GS	SHOT-304GS	HSC-103	FINE-503	FINE-01 γ
Channel	1	1, 2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3		1
Control Mode	—	OPEN	OPEN / CLOSE		—		
Speed (micron/sec)	10～2000					—	
FullStepSize (micron)	—	入力設定				—	
StepSize (micron)	入力設定	リスト選択			0.010		

※1. Channel … ★初期値(Z 軸:1)

接続チャンネルを設定します。

※2. Control Mode … ★初期値(OPEN)

制御方式の切り替えを行います。SHOT-302GS/304GS では「CLOSE」設定で、ガラススケール内蔵タイプの自動 Z ステージが制御可能です。このとき、本体側メモリスイッチで接続チャンネルの制御方式を「CLOSE」に切り替えて使用してください。Preset 設定と本体側メモリスイッチの設定が入れ違いになっている場合、正しく使用できないのでご注意ください。SHOT-702 は Preset 側で「OPEN」のままご使用ください。

※3. Speed (micron/sec) … ★初期値(1000 micron/sec)

速度を設定します。

※4. FullStepSize (micron) … ★初期値(2.0 micron)

フルステップ移動量を設定します(カタログ値参照)。

※5. StepSize (micron) … ★初期値(0.100 micron)

移動分解能を選択、または入力設定します。

「CLOSE」モード使用時はスケールセンサの分解能(0.1 or 0.5 micron)を選択してください。

・SHOT-302GS/702/304GS

入力したフルステップ移動量により自動的に 15 段階の分解能リストが作成されます。

・GIP-101/TAF-C01

本体側のディップスイッチでマイクロステップの分割数を設定してください。

その後、テキストに「フルステップ移動量÷分割数」の計算値を直接入力してください。

・HSC-103

本体メモリスイッチの「PLS_RATE」に「フルステップ移動量(カタログ値参照)÷40」の値を設定してください。正しく設定した場合、0.01 μ m 分解能で制御します。

■ 5. Shutter 動作仕様

○ デバイス名

- ・ c4b_Shutter1～4 | SSH-C4B CH1～4
- ・ c2b_Shutter1～2 | SSH-C2B CH1～2

○ サポート機種

SSH-C2B、SSH-C4B

○ 通信設定

設定項目	SSH-C2B	SSH-C4B
BaudRate	9600/19200/38400	9600
DataBit	8	
Parity	None	
StopBite	1	
HandShake	RTS/CTS	
Delimiter	CRLF	

※1. 機器を接続している COM ポート(PC 側)を正しく選択してください。

※2. BaudRate の設定は必ずコントローラメモリスイッチの設定と合わせて選択してください。

○ Preset パラメータ

設定項目	SSH-C2B	SSH-C4B
State	“1” ⇒ Open , “0” ⇒ Close	
ShutterModel	BSH/SSH-R SSH-S SHPS BSH2/SSH-25RA USER1～3	BSH/SSH-R SSH-S

※1. State … ★初期値 (0:Close)

シャッターの開閉状態を設定します。

※2. ShutterModel … ★初期値 (C2B…BSH2/SSH-25RA、C4B…BSH/SSH-R)

シャッター機種を選択します。

SSH-C2B の場合、規定の機種に加えてユーザー定義のシャッターも選択可能です。

定義内容は SSH-C2B 操作マニュアルを参照してください(設定は本体側で行います)。